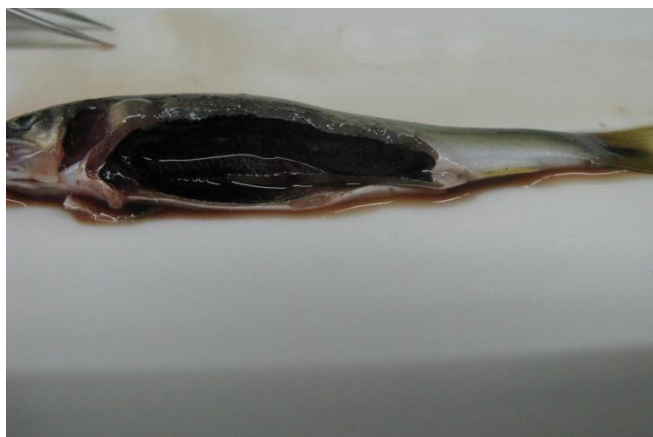
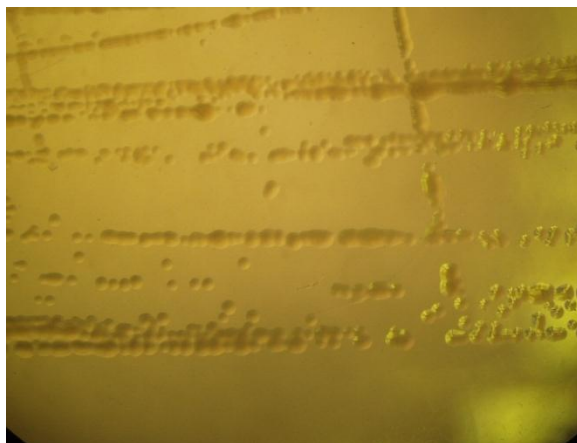


# エドワジエラ・イクタルリ感染症 (Edwardsiellosis)

*Edwardsiella ictaluri*



アユ感染魚に見られる腹水症状



エドワジエラ・イクタルリのコロニー

## 発生生態

本菌は元々北米のアメリカナマズの腸敗血症の病原体として知られていましたが、国内では平成19年に天然河川のアユで初めて本菌の感染が確認されました。平成22年以降、京都府の河川でもアユやギギなどで感染が確認されています。重要な産業種であるアユで発生したことから、資源への影響が懸念されています。

## 防除対策

一度河川で発生してしまうと防除対策を取るのは困難ですが、未発生河川への感染拡大を防ぐためには、アユの放流前に本菌の保菌検査を実施し未保菌魚を放流する、異なる河川間で同じおとリアユの使い回しをしないなどの対策を講じることが重要です。